

第7回臨書展

【日中文化交流促進会理事長賞】

主催 一般社団法人日本書字文化協会
後援 青梅市、中国大使館文化部
東京都青梅市日本中国友好協会
中国書法学院、国際芸術家連盟
NPO 法人日中文化交流促進会
中国国立南京芸術学院日本校
蘇州・寒山寺、蘇州呉昌碩研究会

東京都・江東区立亀戸中学校 2年
松尾 彩加

日中文化交流促進会理事長賞をいただき

私は書くことが大好きで、日頃のお稽古では平仮名や漢字を中心に学んできました。毎週色々な文字に触れ、漢字には楷書や行書が存在すること、また平仮名には行書に調和する平仮名が存在することを中学校の書写や書道教室で教わっていました。

更に、中2の3月に『臨書』という故人の優れた筆跡を学ぶことを知り、今まで臨書の勉強はしたことがなかったので、初めての経験は不安でもあり、新しいものに挑戦するワクワク感もあって、書いていくうちに筆の運びや字形のとりかた、全体のバランスの難しさ、楷書や行書の他に草書や色々な書体が存在することも知りました。

臨書の難しさを感じながらも、点画の繋がりを大切に意識を集中して作品を書くとあっという間に時間が過ぎ、自分がのめり込んでいく心地よさを感じひたすら練習し作品を仕上げた結果、このような素晴らしい賞をいただき驚いています。

来年は高校生になり、芸術書道や書道教室でも古典臨書が中心のお稽古ができるので、今回の経験を生かして前進したいと思います。